

植樹した苗の前で記念撮影



豊かな森、清らかな川を未来へ

◎第5回ネイチャーダム造り植樹祭

「ネイチャーダム造り」の一環であるサクラ・ケヤキ苗の植樹が3月30日、下大野・御開山で行われました。
この事業は、鬼北町の里山に落葉樹を植え、将来は保水力のある豊かな森になることを願って、「広見川夢の会（会長・清家茂）が毎年行っているものです。この日は、夢の会会員、鬼北町青年団員、三島小学校児童ら約40人が、雨上がりの肌寒い中、約160本の苗を植樹しました。
また、植樹の後には、夢の会特製「イノシシうどん」が振る舞われ、春の御開山の自然を満喫しました。

伊藤教授による基調講演



山城に見る歴史物語

◎清良記シンポジウム

3月23日、近永公民館2階講堂で、「清良記シンポジウム」開催され、町内外から約100人が参加しました。
この日は、「鬼北地域に見る国境の戦国社会」と題して、「清良記」を軸に、鶴見大学の伊藤正義教授ら5人の講師が、鬼北地域に存在するさまざまな山城を、それぞれの視点から紹介。分かりやすく、そしてユニークな例えを用いながら、その魅力を語り尽くしました。
参加した人たちは、時にペンを走らせながら、興味深い話の数々に、目を輝かせて聞き入っていました。

嬉しそうな、にっこり笑顔の一年生



ドキドキわくわくの新生活スタート

◎町内小中学校入学式

4月8・9日、町内小中学校の入学式が行われ、今年度は、小学校68人（好藤小5人、愛治小6人、三島小5人、泉小4人、近永小42人、日吉小6人）、中学校97人（広見中85人、日吉中12人）が入学しました。
保護者や在校生が見守る中、緊張した面持ちで入場する新一年生。先生から名前を呼ばれると、元気いっぱいの子どもたちの声が、会場で響き渡りました。
入学式を終え、退場する子どもたちの顔には、これから始まる学校生活への期待が溢れているようでした。

妖艶に、華麗に舞う「うずめの舞」



春告げる、伊予神楽の舞に感嘆の声

◎大本神社清明祭

毎年恒例の清明祭が4月5日、大本神社（内深田）で開催され、地元の関係者らが出席しました。
当日は、国指定重要無形民俗文化財に指定されている伊予神楽を神前に奉納。神楽の始まりとも言われている「うずめの舞」など3演目が披露され、参拝に訪れた人たちは、その厳かで、華やかな舞に目を奪われていました。
神事の後は、敷地内で餅まきが行われ、大人も子どもも一緒になって春祭りを楽しむ、地元の人たちの賑やかな声が響いていました。